

「中海の利活用に関するワーキンググループ」の検討状況について

中海会議利活用WG事務局（島根県政策企画局）

【ワーキンググループ概要】

趣 旨：関係機関が集まり、ともに未来に向かって中海の豊かな自然の恵みを享受・活用し、継承していくための取組を考え、「利活用アイデア」として提案をまとめる。

構成員：「中海の利活用ワーキンググループ設置要綱」のとおり。（事務局は鳥取県未来づくり推進局企画課及び島根県政策企画局政策企画監室。内容により名簿記載以外の部課も適宜参加）

【これまでの開催経過】

○OWG打合せ会 平成22年6月22日

内容：設置の趣旨、参加する機関・部署、検討の方向性等について確認、意見交換。

○第1回WG 平成22年9月2日

内容：設置要綱を確認。検討の方法等を協議、まずは検討の柱5つを以下のとおり設定。

（テーマ：一体感の醸成“中海でつながる” 水面のスポーツ利用“中海に親しむ遊ぶ”
海藻の利用“中海で循環する” 食文化“中海の恵みをいただく”
環境学習“中海を知る”）

○第2回WG 平成22年11月8日

内容：現在取り組まれている既存事業等を整理。検討の方法を確認し、テーマ毎にアイデア出しの作業へ。

○第3回WG 平成23年3月17日

内容：各機関からの利活用アイデア(たたき台)を集約。内容を吟味し、方向性について確認。

○第4回WG 平成23年6月29日

内容：利活用アイデア（たたき台）について、既存事業・既存団体との関わりや実現可能性、経費面など、個別具体的な内容について検討し、効果・波及度、実現性が高いもの（既に実施中を含む）などをセレクト。

○第5回WG 平成24年3月14日

内容：利活用アイデアの取り組み状況の整理と検討方針の確認。

○第6回WG 平成24年7月9日

内容：利活用アイデアの取り組み状況の整理と検討方針の確認。

○第7回WG 平成25年3月18日

内容：利活用アイデアの状況及び今後の推進方針等を確認。また、中海利活用WGの今後の進め方について協議。

○第8回WG 平成25年5月1日

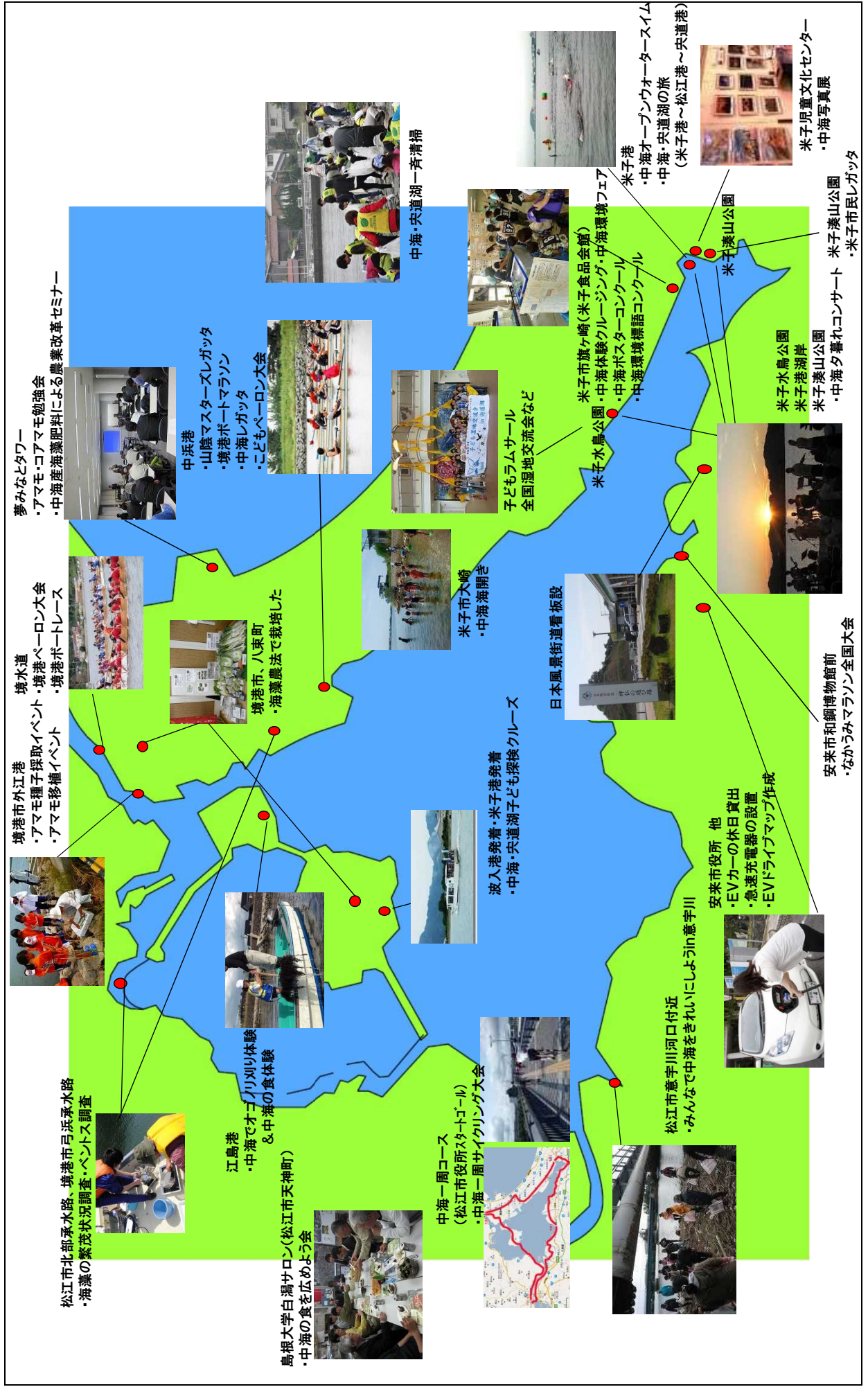
内容：第7回WGにおいて協議した今後の進め方について再協議。WGで提案された利活用アイデアだけでなく、他団体で取組まれている内容も一覧にして会議へ報告することを確認。

○第9回WG 平成26年7月4日

内容：利活用アイデアの取り組み状況の整理と検討方針の確認。

中海の利活用マップ

中海会議 中海利活用WG事務局(島根県政策企画局)



中海の利活用アイデア

実施中・検討中のアイデア

- 【湖面湖岸の利用】 …… ① 中海周遊サイクリングの推進
(中海周遊コースの設定など環境を整備し「サイクリングの聖地」としてイメージアップを図る)
- 【湖面湖岸の利用】 …… ② 中海周遊「EVカーでエコツアー」の推進
(充電インフラの整備等に取り組み安心して走行できるルートを実現、「環境にやさしいまち」をPR)
- 【藻の利活用】 …… ③ 中海の「藻」の活用
(海藻を回収して産業などへ利用することにより中海の藻の循環システムを構築する)
- 【食文化】 …… ④ 「(仮)中海エシカルフード」の開発・提供
(中海産品の復権を目指して公共施設等で中海メニューを提供する)
- 【環境教育】 …… ⑤ ラムサール条約普及啓発の取組
(中海の豊かな自然・環境を守り、育て、次代につなげる取組を進める)
- 【一体感の醸成】 …… ⑥ ポータルサイトによる情報発信
(ここを見れば、中海宍道湖が「わかる」「保全に参画できる」、情報発信の拠点づくり)
- 【一体感の醸成】 …… ⑦ 「日本風景街道」の推進
(宍道湖・中海・大山圏域の「日本風景街道」活動を県境を越えて推進する)
- 【一体感の醸成】 …… ⑧ 中海ワズユース住民活動の推進
(中海圏域の住民から中海の利活用の提案を公募し、助成等を行うことで取組を支援)

構想段階のアイデア

- ⑨ 「中海憲章(仮称)」の制定
- ⑩ 環日本海国際トライアスロン in NAKAUMI
- ⑪ 環境負荷の軽減行動の指標化 ~ 私たちにできること~
- ⑫ マリンスポーツ・レクリエーションの拠点づくり
- ⑬ ECOシップコンテスト in NAKAUMI
- ⑭ 中海周遊船の運航支援
- ⑮ 高等教育機関と連携した人材育成

【湖面湖岸の利用】

① 中海周遊サイクリングの推進

提案主旨

景観や観光資源等に優れた中海周辺を、地元住民から海外の来訪者までがサイクリングで楽しめるよう、周遊コースを提示するなど、豊かな水辺環境を実感できる環境を鳥取・島根両県で一緒につくり、中海が「サイクリングの一大聖地」となることを目指す。(エコな乗り物「自転車」と、水質環境にかかわりの深い「中海」を繋げ、圏域のイメージアップを図る)

提案内容

- 安全で楽しく走れるコースの設定
- コースのマップ化とPR
- 中海を楽しむための空間づくり
- 走りやすい環境づくり
- ギブアップシステムの構築
- 利便性のある環境づくり
- 記念イベントの開催や大規模大会の誘致なども念頭に

取組状況

- ・H22年度 「サイクリングロード整備検討会」(鳥取県組織)を設置
- ・H23年度 「大山中海サイクリングマップ」を試作・公表
「宍道湖・中海サイクリングロード連絡調整会議」(島根県組織)を設置
- ・H24年度 専門家による検討中コースの試走(島根県)



- ・H25年度 コース案について道路管理者・公安委員会等と協議
- ・H26年度 両県等で最終調整のうえ、サイクリングロードの環境整備(路面表示等)に着手予定

今後の取組の方向

コースマップの作成、PR活動、イベントの開催などの対応のため、国、両県、関係市相互の更なる連携強化を図り進める。

主な関係主体

- 鳥取県西部総合事務所(地域振興局、米子県土整備局)
- 島根県(土木部)
- 中海沿岸市
- ほか

中海周遊サイクリングコース (全体図)

